



胃がん、歯科検診など、6項目にわたって詳しく検診

## (誕生日記念健診) に173人

### 胃がんなど6項目をチェック

働き盛りの四十歳に健康チェック——十月六日、今年四十歳を迎える人(女性は三十歳を含む)を対象に「誕生日記念総合健康診査」が市立中央公民館で行われ、百七十三人の方が検診を受けました。健康管理のためには、定期的な検診は大切。四十歳の節目に「自分の健康は自分で守る」という気持ちで、これからは必ず検診を受けるようにと、今年初めて行われたもの。

検診内容は、胃がん、成人、子宮がん、乳腺、レントゲン、歯科の六項目。女性は特に三十歳の方も対象として、子宮がん、乳腺検

診などを重点的に行いました。午前八時過ぎには、大勢の人が訪れ、受け付けはいっぱい。それぞれ健康に対する関心の高さをうかがえました。

この日受診した人は、申し込み者三百五十八人に対して百七十三人。各検診を合わせた延べ人数は五百十一人となっています。

胃検診を受けていた男性は「勤

## 手作りカステラ贈る

大篠地区社会福祉協議会(長野正文会長)が九月二十七日、地域の食生活改善推進員の協力を得て、一人住まいのお年寄りに手作りカステラを贈りました。

これは、独居老人におやつの一ビスをと、同協議会が年間事業計画の一環として今年初めて取り組んだもの。

この日はまず、地域の婦人二十四人が参加し、地区の食生活改善推進員が、健康づくりのための食生活について講習会を開きました。

め先でも検診はあるが、一度も受けたことはなかった。今日は、女房が申し込んでいたので来たが、やはり健康に注意しなければならぬ年になってきていると思う」と、話していました。

また、寄せられたアンケートの声を拾ってみると——。「健康は悪くなくて安心した」「健康は財産ということを感じ」「検診

## 大篠地区社協が独居老人に

そして、午後から五人の推進員と参加者の方も協力し、お年寄りに食べてもらうカステラを作りました。

大篠地区には、約五十人の独居老人がいますが、今回は伊達野、住吉野など南の地区に配ることにし、推進員が直接訪問。「手作りのカステラです。召し上がってください」と手渡すと、お年寄りも「ありがとうございます」とお礼を述べてい



手作りカステラをお年寄りに手渡した

に時間がかかった」「自分の健康状態を知るよい機械を得た」「自分からはなかなか行かないので、こういう機会があればいい」など。環境保健課保健係では、この健診を、今後継続してやっていく計画です。